

# 題材名 『ナンダワールド IN 菅生～「いつもの」じゃない「新世界」～』

授業者 富士見中学校 守屋 里美

## 1 学習目標

身近な日常の風景を普段とは違った視点で見つめ、カメラで捉えることに興味を持ち、感じ取った形や色、雰囲気などの特徴や美しさから主題を生み出す。写真を通して身の回りにある「いつもの」風景に変化を加える工夫をし、自分の意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現する。また、身の回りにある「いつもの」風景を「きれいだな」、「いいな」と感じ取り味わう。

## 2 指導事項

**A表現** (1)ア、イ (3)ア **B鑑賞** (1)ア **[共通事項]** (1)ア、イ

## 3 題材設定の理由

最近では、デジタルカメラやカメラ付き携帯、スマートフォンの普及によって写真が身近なツールとなり、誰にでも簡単に撮影ができるようになってきた。生徒たちも写真を身近なものとして感じており、日常生活に根付いている。日常目にしている学校に自分なりのアイデアを加えて変化させ、形や色の美しさや面白さを見つけさせたい。そして見つけた「美しい、面白い」と感じる風景を構成や構図によって自分の思いを主題として表せるものになりたい。この授業を通して生徒たちが、生活の中にある色やかたちを新鮮な気持ちで見ること、身近なものにも「きれいだな」とか「いいな」と感じる豊かな心を育てたい。

## 4 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

### (1) 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>表現</b> ・身近な風景の変化による形、色彩などの美しさや面白さに興味をもち、主体的に主題を生み出そうとしている。 ・デジタルカメラの表現に興味をもち、主体的に工夫して表現しようとしている。 <b>鑑賞</b> ・自分や友人の写真鑑賞に積極的に参加し、興味をもって主体的に感じ取ろうとしている。	・見つけ出した形や色彩の美しさや面白さから主題を生みだし、その効果を生かして、構成や構図を工夫している。	・材料や光などの特性を生かして表現してみたいイメージに近づくような場면을創り上げている。	・自分や他者の作品から、面白さや美しさを見出し、表現の工夫などを味わっている。 ・作品や対象を鑑賞することを通して、ものの見方や感じ方を広げている。

## (2) 学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>表現</b> 関①身近な風景を変化させ形や色彩などの面白さに興味をもち、主題を生み出そうとしている。 <b>関②</b> デジタルカメラの表現に興味をもち、さまざまな構図や表現方法を工夫して表現しようとしている。 <b>鑑賞</b> 関③写真に興味を持ち、身近なものの形や色彩の組み合わせの面白さを感じ取ろうとしている。 <b>関④</b> 自分や友人の写真鑑賞に参加し、興味を持って感じ取ろうとしている。	<b>発①</b> ・見つけ出した形や色彩の美しさや面白さから主題を生みだしている。 <b>発②</b> 身近なものの形や色の美しさに気がつき、構成や構図を工夫している。	<b>創①</b> 材料や光の特性を生かし、自分の表したいイメージを創り出し、創造的に表現している。	<b>鑑①</b> 自分や他者の作品から、面白さや美しさを見出している。 <b>鑑②</b> 作品や対象を鑑賞することを通して、ものの見方や感じ方を広げている。

- 5 準備 ○生徒 筆記用具  
 ○教師 (資料掲示に必要な機材) テレビ、実物投影機、パソコン  
 (活動の素材・用具として) デジカメ、ワークシート、すずらんテープ、ビー玉カラーセロハン、

- 6 学習の展開 (指導と評価の計画) 関：美術への関心・意欲・態度 / 発：発想や構想の能力  
 (3時間) 創：創造的な技能 / 鑑：鑑賞の能力

時間	●学習のねらい ・学習活動	学習活動に即した評価規準				【評価情報】 A キーワード	・指導と評価の留意点等
		関	発	創	鑑		C への手立て
15分	<b>課題の把握</b> <b>●</b> いつもとは違う風景の面白さに気がつき、撮影に意欲をもたせる。 ・参考作品を鑑賞し、いつもの風景異なる点を考える。				<b>関③</b> 【鑑賞の様子】 関③・積極的に、主体的に感じ取っている。	・参考作品を紹介し、撮影の仕方を具体的に説明することで、興味がわくように指導する。 関③・面白い方法で撮影した写真を提示し、興味をもたせる。	

30分	<b>撮影 1</b> ・学校内の風景に変化を与え、選んだテーマに沿った撮影をする。	<b>関①</b> 【活動の様子】 <b>発①</b> 【活動の様子】 <b>創①</b> 【活動の様子】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>関①・積極的に撮りたい場所を見つけ、撮影している。</p> <p>発①・テーマからイメージを広げ、考えを膨らませている。</p> <p>創①・様々な材料を効果的に利用している。</p> </div>	・巡回をしながら、写真のイメージを問いかけ、構図や表現方法の工夫を見取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関①・共に活動し、楽しさを伝える。</p> <p>発①・テーマから連想するイメージを聞き、発想をひろげる。</p> <p>創①・材料などによっていろいろな効果があることを提示する。</p> </div>
20分	<b>鑑賞 1</b> ●写真を鑑賞し、構図や光などを工夫して、より写真を効果的に撮影する方法を考えさせる。 ・4人班になり、撮影した写真の鑑賞会を行う。	<b>関④</b> 【活動の様子】 <b>鑑①</b> 【ワークシート】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>関④・積極的に鑑賞会に参加し、友人と共に考えようとしている。</p> <p>鑑①・自分や友人の作品のよさや面白さを主体的に感じ取っている。</p> </div>	・生徒が撮影した写真から、代表で何枚か提示し、互いに感想を述べさせる。構図や光について写真を見ながら考え、発言しているか評価する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関④・他者の写真を見せることで興味をもたせる。</p> <p>鑑①・構図の変化によって見え方が変わることを伝える。</p> </div>
40分	<b>撮影 2</b> ●鑑賞を基にイメージを膨らませ、主題を生み出している。 ・鑑賞2からイメージを広げ、撮影する。	<b>関②</b> 【活動の様子】 <b>発①</b> <b>発②</b> 【ワークシート、活動の様子】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>関②・積極的に撮影に臨み、主題に近づく工夫をしようとしている。</p> <p>発①・鑑賞したことを基に主体的に主題を考えている。</p> <p>発②・何度も試行錯誤してイメージに近い構図などを考えている。</p> </div>	・ワークシートのメモをもとに巡回指導する。また、活動が進み、写真の構図がまとまってきたところで個々にアドバイスを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>関②・さまざまな方法を提示し、興味をもたせる</p> <p>発①・テーマから発想するイメージを聞き出す。</p> <p>発②・撮影①の写真を見て、良くするためにはどうするか考えさせる</p> </div>

30分	<b>鑑賞 3</b> ●自分や友人の作品のよさや面白さを感じ取らせる。 ・写真をプリントアウトし、ワークシートに貼る。 ・形や色彩、雰囲気がなどのイメージが伝わるような題名を考える。 ・学級で鑑賞会を行い、ワークシートに感想を記入する。	<b>関④ 【活動の様子】</b> <b>鑑① 【ワークシート】</b> <b>鑑② 【題名、発言、ワークシート】</b>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">         関④・主体的に作品のよさを感じ取ろうとしている。          鑑①・鑑賞会に積極的に参加し、作品のよさを感じ取っている。          鑑②・主体的に作品の特徴を感じ取り、題名を考えている。       </div>	・全体が話を聞けるように指導を行う。また発表を聞き、その場で感想を言い合えるように指導する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         関④・写真が見やすく、発表が聞きやすい環境をつくり、ワークシートに感想を記入させる          鑑①・色や形、雰囲気に注目させ、感想を書かせる。          鑑②・写真から感じ取るイメージを言葉にあてはめさせる。       </div>
	<b>授業外</b> <b>ワークシート</b> <b>写真</b>	<b>発②③</b> <b>創①</b> <b>鑑①②</b>	・作者の意図や工夫をワークシートの記述からも見取る。



「いつも」の風景に「いつも」じゃない世界を創り出そう!!

今日の活動

13:30~ 前回の活動をふり返る

13:50~ 撮影1 ナンダワールドへ!

14:30~ 鑑賞準備・鑑賞会

まとめ

15:00 終了



金工室に帰ってからは...

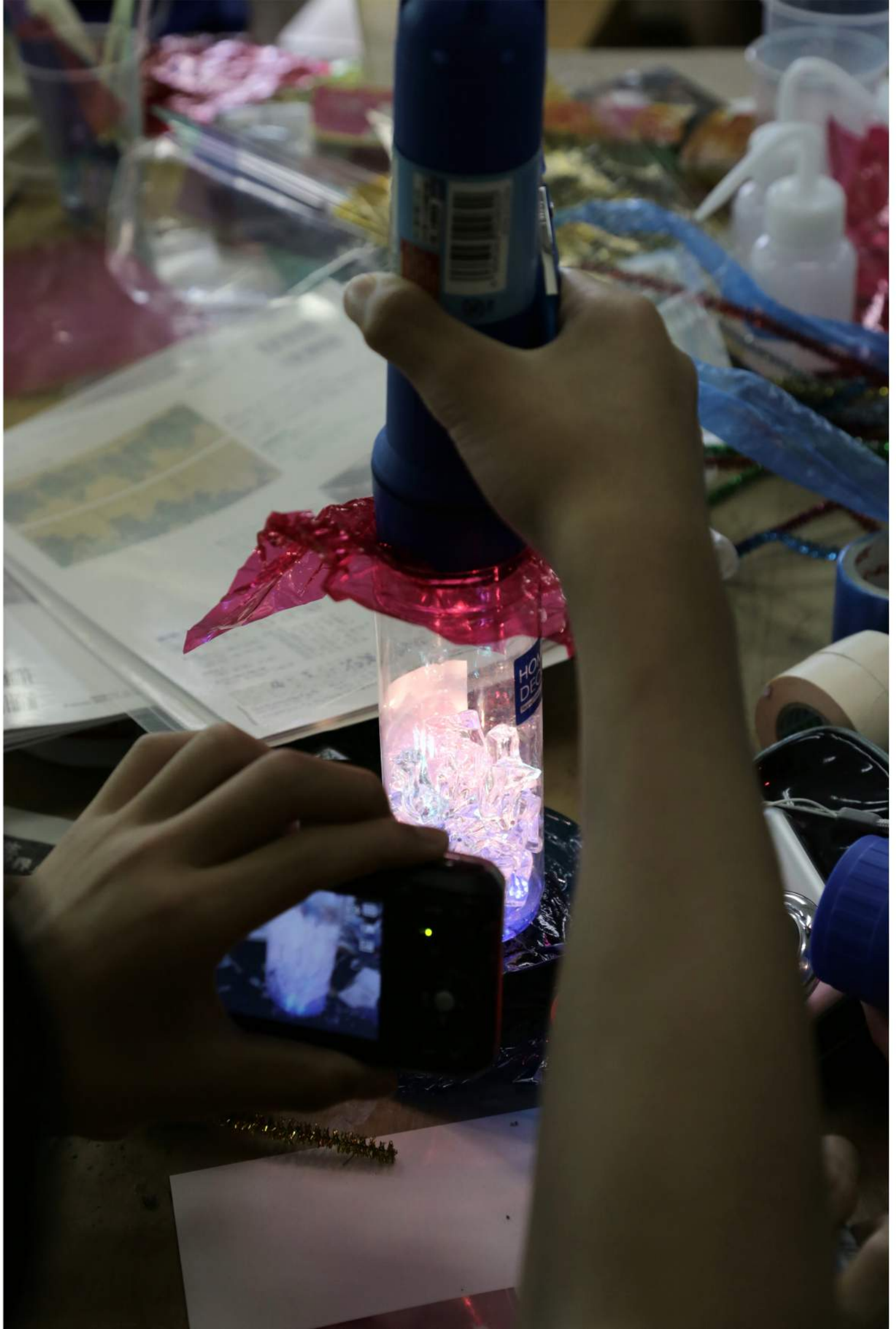


作品シートに  
写真を両面テープで  
貼る

↓  
題名を考えよう!!

鑑賞会

題名、理由  
撮影方法  
感想





# 題材名 『心の手ざわり』

## ～ 羊毛素材を使って思いを表わそう ～

授業者 井田中学校 城野 佳子

### 1 学習目標

自分の内面にある様々な思いをテーマに形を考え出すことで、素材をどのように生かすのか、表現意図に合う方法を工夫しながら追求し、創造することの喜びを味わう。羊毛素材の特性を手がかりとして自由に色や形を考えながら発想を広げる。互いの作品を発表や鑑賞し合うことで人のもつ様々な感情が多様な表現につながることを理解し、見方を広げる。

### 2 指導事項

**A表現** (1)イ (3)ア      **B鑑賞** (1)イ、ウ      **共通事項** (1)ア、イ

### 3 題材設定の理由

羊毛の素材に出会い、その特徴から柔らかい雰囲気や盛り上がり、色の深みを出すことができ、人の内面にある「思い」を表現することに向いている素材ではないかと感じた。羊毛の柔らかく温もりのある手触りを感じながら、制作ではイメージした気持ちの形の中で盛り上がりをつけ、色の混ざりあいを楽しみながら制作をしていく過程を大切にしたい。自分の心にある思いを表現するために、羊毛を「重ねる、盛り上げる、細く引き伸ばす、丸める、ねじる、織り込む」といった様々な方法で工夫して制作する中で、新たな色や質感を生み出してほしい。また、この素材ならではの湧き上がるような雰囲気や、やわらかく張りのある質感、絵具とは違う色の深みの面白さを味わってほしい。そして、形が決まっていない「思い」をイメージし制作することで表現の工夫や自由な発想で考える力を育てたい。言葉だけでは伝えきれない思いを作品にすることで、人からも共感を得る形あるものとして表すことができる。心を形で表現することの楽しさや難しさを含め、羊毛を使っての表現の可能性を追求する心や、お互いの作品のよさを認め合う態度を養い、心の手ざわりにふれてもらいたい。

### 4 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

#### (1) 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>表現</b> ・羊毛素材に触れ、独自のさまざまな思いを表現するために工夫して制作することに関心を持つ。主体的に、造形的な美しさなどを考えて構想を練り、素材や制作方法の特性を生かして創造的に表現しようとしている。 <b>鑑賞</b> ・思いの形や、他者の作品に関心をもち、主体的に見方や理解を深めようとしている。	・「思い」を表すために色彩の効果や造形的な美しさなどを考え、表現の構想を練っている。 ・素材の持ち味を生かし立体的な表情や色彩の表現に深みを出せるよう構想を深めている。	・感性や造形感覚などを働かせて、自分の表現意図に合う形や色、素材の生かし方を考え、新たな表現方法を工夫し、計画的に見通しを持って創造的に表現している。	・作品から、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じとっている。 ・人の持つさまざまな思いが多様な表現につながることを理解し見方を広げる。

## (2) 学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現 関①</b> 形や色の表し方から様々なイメージが連想できることに関心を持ち、主体的にイメージを探り、構想を練ろうとしている。</p> <p><b>表現 関②</b> 材料や用具の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う形や色、新たな表現方法を見出せるよう試行錯誤を重ね創造的に表現しようとしている。</p> <p><b>鑑賞 関③</b> 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p><b>発①</b> 「思い」を表現するために形の特徴を生かした構成を考え、イメージを探っている。</p> <p><b>発②</b> イメージを基に試行錯誤を繰り返し、形や色彩の効果を考え、表現の構想を練っている。</p>	<p><b>創①</b> 材料や用具の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫し創造的に表現している。</p>	<p><b>鑑①</b> 鑑賞活動を通して形や色の組み合わせから伝わる印象を楽しみながら、自分の制作に生かせるようにイメージを膨らませている。</p> <p><b>鑑②</b> 作者の心情や意図を感じ取り、自分の価値意識を持って味わっている。</p>

### 5 準備

- 生徒
  - 教師—(提示用資料)
- (制作の材料)
- ・筆記用具
  - ・色鉛筆
  - ・鉛筆
  - ・アイデアスケッチ
  - ・ネームペン
  - ・制作方法紹介 VTR (DVD)
  - ・実物投影機
  - ・モニターテレビ
  - ・DVDプレーヤー
  - ・参考作品
  - ・羊毛
  - ・フェルティングニードル
  - ・フェルト (台紙用)
  - ・アイデアスケッチ用の紙
  - ・発砲スチロール板 (作業台)
  - ・はさみ
- (鑑賞)
- ・マジックテープ
  - ・布用両面テープ
  - ・布用ボンド
  - ・ガムテープ
  - ・鑑賞カード
  - ・モニターテレビ
  - ・安全ピン
  - ・ヘアピン



「だるい気持ち」  
(暗くなっていく・どろどろ感)



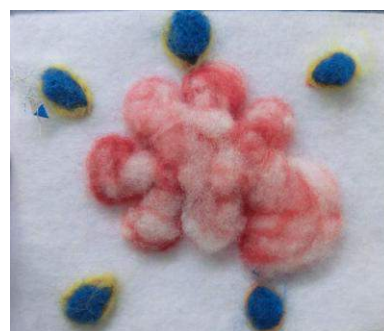
「自由に生きる」  
(のびのび・個性豊か)



「じわじわ」  
(うれしさ・よろこび)



「想像からひらめき」  
(たくさんの思いつき・ふくらんでいく)



「あわわ!」  
(あわてている心)



6 学習の展開（指導と評価の計画）

関：美術への関心・意欲・態度      /      発：発想・構想の能力  
 創：創造的な能力                      /      鑑：鑑賞の能力

時間	●学習のねらい ・学習活動	学習活動に即した評価規準 関 発 創 鑑 【評価情報】 Aキートン	指導と評価の留意点等 Cへの手立て
20	<p><b>課題の把握と鑑賞</b></p> <p>●参考作品を鑑賞し、様々な表現方法に触れ、題材への関心を高める。</p> <p>・形や色の特徴を生かした、様々な表現を知る。</p> <p>・形や色の特徴からどのような感情をテーマにしているかを考える。</p> <p>●素材の特徴や用具について紹介し、素材を生かした表現を考える。</p> <p>・羊毛素材の特性を知り、羊毛で作ることのできる様々な形や色彩から制作のイメージを広げる。</p>	<p>関① 【鑑賞の様子】</p> <p>鑑① 【ワークシート、発言内容】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>鑑① ・形や色彩の組み合わせから伝わってくる印象を楽しみながら、自分の作品制作をよりよいものにしようとする主体的にイメージを膨らませている。</p> <p>関① ・単純な形の特徴から様々なイメージが呼び起こされることに関心をもち、主体的にイメージを探り、構想を練っている。</p> </div>	<p>・参考作品やワークシートで、今回の題材の目的と制作の流れを説明する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鑑①・形や色彩の組み合わせからどのようにテーマを表現しているのかを、鑑賞を通して読み取るヒントを与える。</p> <p>関①・様々な形の特徴から喚起しやすいイメージを確認し、取捨選択から自分の作品制作に生かせるよう助言する。</p> </div> <p>・参考作品を掲示しながら様々な形に興味をもたせる声かけを行う。</p>
30	<p><b>表現の発想・構想</b></p> <p>●自分の心の中にある「思い」を形にするために、ワークシートを用いて発想を広げる。</p> <p>・「思い」のテーマを決め、言葉・形・色などのイメージをまとめる。</p> <p><b>今後の流れを確認</b></p> <p><b>課題の確認</b></p>	<p>発① 【ワークシート】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>発① ・テーマに決めた「思い」を表現するために、自分の経験や心と向き合い、その思いを表わす雰囲気、形、色彩などの特徴を積極的に考え、作品制作に向けて構想を深めている。</p> </div>	<p>・発①ではイメージが持つことができているかを見取り、指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発①・身近な生活の中の場面から、様々な「思い」の経験を思い出させ、その思いを形や色彩に置き換えて表現できるように問いかけや助言を行う。</p> </div>

<p>15 <b>表現の発想・構想</b></p> <p>●アイデアスケッチを基に、完成作品のイメージを明確にする。</p> <p>・クラスメイトのスケッチを参考に、制作方法や表現の工夫を考える。</p> <p><b>制作方法の確認</b></p> <p>●制作方法についての説明を行い、各自のアイデアに合った手法を理解する。</p> <p>・映像を見て具体的な制作方法や注意点を理解する。</p>	<p><b>関①</b> 【各自準備したワークシートの内容】</p> <p><b>発①②</b> 【アイデアスケッチ】</p> <p><b>関①</b>・自ら制作のための資料を進んで準備している。</p> <p><b>発①</b>・表したい「思い」のイメージを明確にもち、形の特徴を生かした構成を考え、洗練された形になるようイメージを精選している。</p> <p><b>発②</b>・形や配色の効果を生かし、自分の思いのテーマにふさわしい表現となるよう構想を練っている。</p>	<p>・自分のイメージを色や形などで表現し、心情を表すものを構想しているかを見取る。</p> <p><b>関①</b>・様々な資料を提示し、関心を高める。</p> <p><b>発①</b>・表現したい「思い」を確認し、イメージを形にまとめるための考え方や具体例を提示する。</p> <p><b>発②</b>・形の特徴や配色のもつ効果を確認し構想を練るためのヒントを与える。</p> <p>・折れやすいニードルの扱い方について、正しい使い方を説明する。</p> <p>・制作方法について映像を見せ、羊毛で形作る制作のポイントを確認する。</p>
<p>60 <b>制作</b></p> <p>・必要な用具や材料を準備し、作業環境を整える。</p> <p>・台紙用のフェルトに考えた形をトレースし、羊毛で着色し、膨らみをだしていく。</p> <p>・表現を深められるよう羊毛の重ね方を考え、表現方法を工夫しながら制作する。</p>	<p><b>関②</b> 【制作の様子】</p> <p><b>創①</b> 【制作中の作品】</p> <p><b>関②</b>・羊毛素材や制作方法の特性を生かし、新たな表現方法を見出せるよう意欲的に試行錯誤を重ね独創的な表現に試みている。</p> <p><b>創①</b>・新たな表現方法を見出せるよう羊毛の密度や立体感、色の混ぜ方などを工夫し試行錯誤を重ね創造的に表現している。</p>	<p><b>関②</b>・制作方法の手本を示し、表現の工夫に興味をもたせる。</p> <p><b>創①</b>・自分らしい表現につながるよう材料や制作方法を生かした制作方法を具体的に紹介し、個々に助言する。</p>
<p>25 <b>鑑賞・まとめ</b></p> <p>●羊毛を使った多様な表現方法や、お互いの作品のよさを認め合う。</p> <p>・作品のタイトルを考え、<b>班の中で発表・鑑賞を行う。</b></p> <p>・班の代表生徒が作品を発表する。</p>	<p><b>関③</b> 【鑑賞の様子】</p> <p><b>鑑②</b> 【ワークシート、発言内容】</p> <p><b>関③</b>・作者の意図や表現の工夫を深く感じ取ろうと、発言内容や作品の細部の表現などにも関心をもち活動に取り組んでいる。</p> <p><b>鑑②</b>・班の仲間の作品のよさを深く感じ取り、自分の気付きを発言や話し合い、プリントへの記入などを通して積極的に表現している。</p>	<p>・気軽な雰囲気作品発表がすすむよう、班の小グループで鑑賞活動を行う。</p> <p><b>関③</b>・作者の意図や表現の工夫を引き出しながら、発想のおもしろさや表現の多様性に気づかせる。</p> <p><b>鑑②</b>・形や色の表現について様々な視点から、よいところに気付くよう確認する。</p>

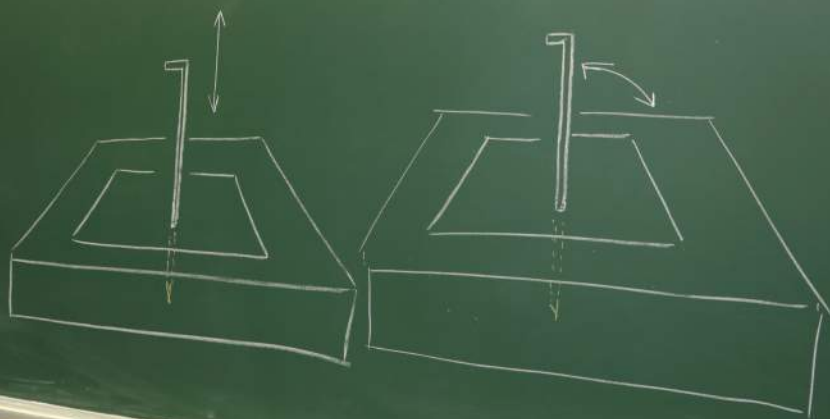


# 心の手ざわり

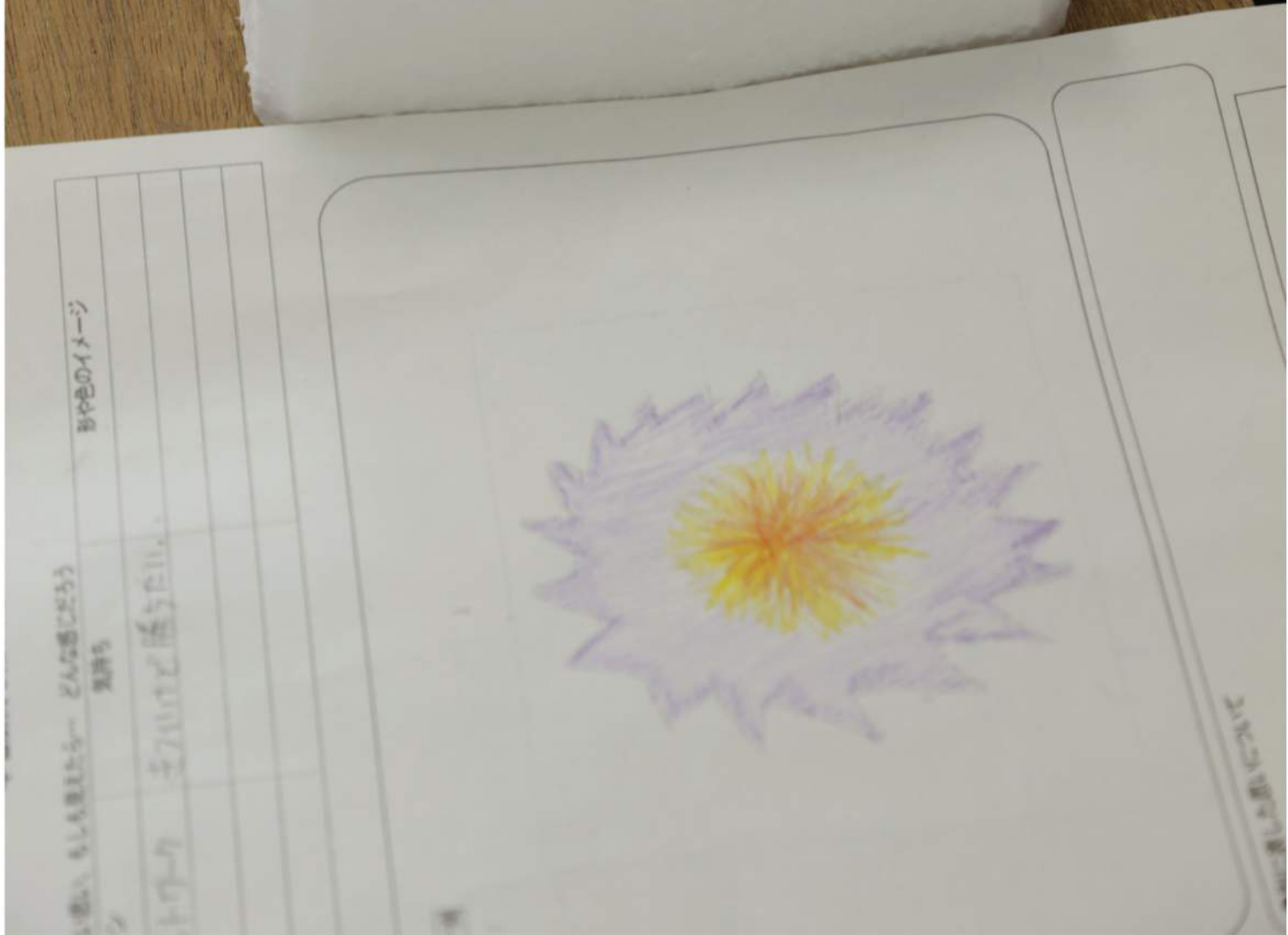
～羊毛素材を使って 思いを表そう～

## 授業の流れ

- 時間  
13:30 予備の確認  
13:35 制作方法について(VTR)  
13:45 制作開始  
14:30 制作終了  
14:35 発表会  
14:45 発表会  
14:55 振り返り まとめ  
15:00 授業終了









# 題材名 『小さな小さな大きな世界』 ～視点を変えて見えたもの～

授業者 川崎市立橋中学校 柳田みちる

## 1 学習目標

見慣れた風景を視点を変えて深く見つめ、よさや美しさを感じ取ることに関心を持ち、想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を育む。日常の中に新しい情景を見つけ出し、世界観を味わいながら気づいたことや発見したことから主題を生み出し構想を練って工夫して表現する。鑑賞では作品を大きく投影することによって、自分が小さな生き物になったかのように視覚的体験を味わいながら、感じ取ったことや考えたことを発表しお互いに理解しよさを認めあう。

## 2 指導事項

**A表現** (1)ア、イ (3)ア、イ **B鑑賞** (1)ア **[共通事項]** (1)ア、イ

## 3 題材設定の理由

私たちは普段目の前に写る世界を何気なく見ている。しかし、見ているようで実は見えていないことや見ようとしていないことが多い。対象を深く見つめることでこれまで思い込んでいたものとは違う色や形、表面のマチエールなど新たな発見に気づくことができる。また、人間には当たり前前の光景も小さな生き物の視点で見れば世界が変わることに気づく。

本題材では、自分が虫のような小さな生き物になったつもりで視点をかえて対象に近づき、新たな発見を通して見えたり感じたりしたことを、小さな生き物の世界観を味わいながら心豊かに発想する活動を通して、物事への見方や考え方を広げたい。主題を基に発想したことを、見え方の効果を考えながら材料や用具の特性を生かしつつ構想を練って工夫して表現する力を身につけさせたい。鑑賞では自分の作品を天井・壁・床などにプロジェクターを使用して大きく投影し、そこに自分が入り込むことで、本来自分より小さなものが大きく表現されているという現実にはあり得ないはずの視覚的体験を味わわせる。大きく投影されることで見え方が変わるおもしろさを味わいながら、そこに広がる世界に想いを膨らませ、感じ取ったことを他者に伝えることの大切さを感じさせたい。また、他者の視点の違いや作者の考え、表現意図を幅広く感じとることでさらに物ごとへの見方や考え方が広がり深まることを期待し、本題材を設定した。

## 4 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

### (1) 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>表現</b> ・視点を変えて対象を深く見つめ感じ取ったことや考えたことから想像力を高め表現することへの関心を持ち、主体的に主題を生み出そうとしている。  <b>鑑賞</b> ・視点を変えて見えたもののよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。	・感性や想像力を働かせて視点を変えて対象を深く見つめ、感じ取った形や色彩のよさや美しさ、新鮮な感動や驚きなどから主題を生み出し心豊かな表現の構想を練っている。	・対象をよく見て自分の表したいイメージをもちながら材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫をして表現している。	・感性や想像力を働かせて、視点を変えて見ることのよさやおもしろさ、作者の心情や意図と工夫を感じ取り、自分の想いや考えを持って味わっている。

(2) 学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現</b> 関① 視点を变えて対象を深く見つめることに関心をもち、主体的に主題を生み出そうとしている。</p> <p><b>表現</b> 関② 材料や用具の特性を主体的に生かし、計画的に見通しをもって表現方法を工夫して表現しようとしている。</p> <p><b>鑑賞</b> 関③ 形や色彩などの特徴や印象、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。</p>	<p><b>発①</b> 感性や想像力を働かせて視点を变えて対象を深く見つめ、感じ取った形や色彩のよさや美しさ、新鮮な感動や驚きから主題を生み出している。</p> <p><b>発②</b> 主題を基に想像力を働かせ、自分の表したいイメージをもち表現の構想を練っている。</p>	<p><b>創①</b> 材料や用具の特性を生かし、表したいイメージをもちながら自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして創造的に表現している。</p>	<p><b>鑑①</b> 感性や想像力を働かせて、視点を变えて見ることのよさやおもしろさを感じ取り、自分の価値意識をもって味わっている。</p> <p><b>鑑②</b> 制作した作品の鑑賞を通し、小さな生き物に自分の気持ちを重ね、作者の心情や意図と工夫を感じ取り味わっている。</p>

5 準備

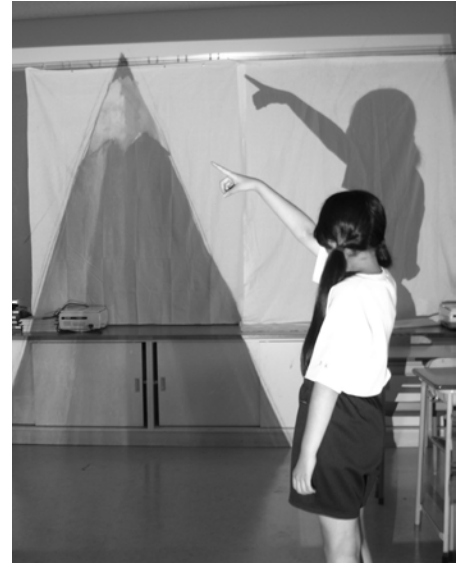
- 生徒一
  - ・筆記用具
  - ・絵具セット
- 教師一(提示用資料)
  - ・参考作品
  - ・モニターテレビ
  - ・プロジェクター
  - ・背景用拡大写真
- (制作の材料)
  - ・アクリルガッシュ
  - ・水彩色鉛筆
  - ・イラストボード
  - ・コピー包み紙
  - ・ドライヤー
- (鑑賞)
  - ・ワークシート



「排水溝は落とし穴？」



「大きな葉っぱの傘」



「あれが新しくできた鉛筆タワーです」

## 6 学習の展開（指導と評価の計画）

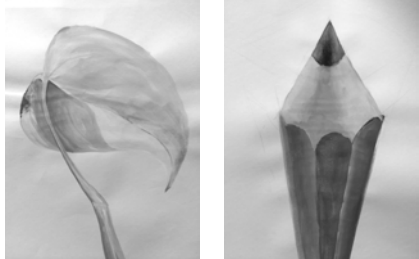
関：美術への関心・意欲・態度／ 発：発想や構想の能力

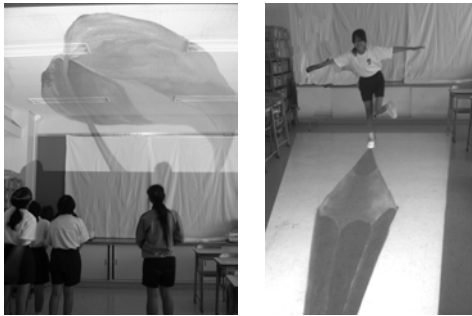
（3時間）

創：創造的な技能

鑑：鑑賞の能力

時間	●学習のねらい ・学習活動	学習活動に即した評価規準				【評価情報】 Aキワード	・指導と評価の留意点等 Cへの手立て
		関	発	創	鑑		
10分	<p><b>プレ授業</b></p> <p>課題の把握と鑑賞</p> <p>●視点を変えてみることで得られる新鮮な感動や驚きを感じ題材への関心を高める。</p> <p>・小さな生き物の気分を味わう。</p> <p>・参考作品から課題を把握する。</p>	関①	鑑①	【活動の様子、鑑賞の様子】		<p>・教室の壁に小さな生き物の視点でとらえた風景写真を拡大して展示することにより自分が小さくなった気持ちを味わわせる。</p> <p>・実際にプロジェクターを使用して参考作品を提示し、興味関心が高まるよう指導する。</p>	
25分	<p><b>表現の発想・構想</b></p> <p>●新たな視点で対象を深く見つけ、心豊かに発想を広げ主題を基に表現の構想を練る。</p> <p>・新たな視点をもつ</p>	関①	発①	【活動の様子、ワークシート】			<p>関①／鑑①</p> <p>・視点が変わることで新たに気付いたこと感じたことを背景写真や参考作品から感じとらせ関心を持たせる。</p>
		<p>関① ・意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>鑑① ・表現の良さを味わおうとしている。</p>				<p>関①</p> <p>・感じたことから主題を生み出している。</p> <p>発① ・感じたことから主題を生み出し心豊かに発想を広げている。</p>	<p>・新たな視点をもって見る時の目安として親指に顔を描かせ、小さな生き物の視点を共通認識させる。</p>
						<p>関① ・小さい生き物にとってはどう感じるかを考えさせる。</p> <p>発① ・気付いたことやイメージを言葉で確認し、発想につなげさせる。</p>	

10分	<p>て校内を周り興味のある風景や対象を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象を深くみつめ自分なりの発想を広げる。</li> <li>良さや美しさ、感じたことや考えたことを基に主題を生み出し構想を練る。</li> <li>構想したことをワークシートに記入しておく。</li> </ul>	<p>発② 【ワークシート】</p> <p>発② ・表したいイメージを明確にもち構想を練っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発①ではイメージを持つことができているかどうかをみとり、イメージが持てない生徒を中心に助言する。</li> <li>探索しながら随時気づいたことや感じたことをワークシートに記入しておくよう指導する。</li> </ul> <p>発② ・身近なものに置き換えてみることで発想につなげさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時のポイントを明確にし、学習の意義を確認する。</li> </ul>
5分  45分  30分	<p><b>本時</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●前回の授業の振り返りを通して本時の活動の見通しをもつ。</li> <li>●題材の目的、授業の流れ、完成までの制作手順を確認する。</li> </ul> <p><b>制作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●構想をもとに材料や道具の特性を生かし創造的に表現する。</li> <li>●対象をよく捉えながら材料や道具の特性を生かし工夫して表現する。</li> </ul> <p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●作品を投影し、互いの気づきや発見、表現の工夫などを感じ取る。</li> <li>●完成した作品をプ</li> </ul>	<p>関① 【活動の様子】</p> <p>関① ・主体的に制作に取り組んでいる。</p> <p>関② 創① 【活動の様子、作品】</p> <p>関② ・道具や材料の特性を生かし試行錯誤しながら創造的に表現し、取り組んでいる。</p> <p>創① ・対象をよく見て画面の構成を意識しながら表現している。</p>  <p>関③ 【活動の様子】</p> <p>鑑② 【鑑賞の様子、ワークシート】</p> <p>関③ ・普段自分よりも小さなものが大きくなっている世界観を味わいながら小さな生き物になりきって自分の考えをしっかりと伝え、他者の意図を聞きよさを感じ取っている。</p> <p>鑑② ・表現の工夫や作者の考えなどを主体的に感じ取って</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の主題を明確にさせ、制作につなげるよう指導する。</li> <li>材料・道具の使い方や表現の仕方を参考作品を見せながら説明する。</li> </ul> <p>関① ・参考作品を見せながら課題をもう一度説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>制作途中でも投影できるようにしておき、自分の目で見ながら表現に生かすよう指導する。</li> <li>色の重なりの効果や筆の使い方について説明し、豊かに表現できるように指導する。</li> <li>個々の生徒の状況を見取り指導する。</li> </ul> <p>関② ・自分の表現の仕方を考えさせる。</p> <p>創① ・実際に投影してみても見え方を感じさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品を投影し自分が小さくなったような視覚的体感を感じさせる。</li> </ul> <p>関③ ・小さな生き物になったつもりで想像させるようにする。</p> <p>鑑② ・大きく表現されたことでどの様に感じるかを引き出す。</p>

<p>10分</p>	<p>ロジクターで投影し、小さな生き物の気持ちを味わいながら感じ取ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 他者の作品を小さな生き物になったつもりで鑑賞する。</li> <li>• 自分の感じたり考えたりしたことを伝え、他者の作品や発表から良さを味わう。</li> <li>• 各自でワークシートに授業全体の感想を記入する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新たな視点をもつことで物ごとの見方や考え方を変えることができることに気付かせ、制作の取り組みをまとめ、評価する。</li> <li>• 学習を通して感じたことや気付いたことをワークシートから読み取り、鑑賞の様子と合わせて評価する。</li> </ul>
------------	--	---	---

おやゆびくん目線で見つけたものを描く。

よーく見て



★広い面をぬった後 面相筆で「細かい所を加えたり、えのぐでつけた筆で」かすれさせ、サビヤ木割れた所を表現したり

★「ジュブ」から出はどのほう⇒本当にその色?

★開けを、筆を動かして立体感を出す。



制作予定表

13:30	説明
13:55	<45分間>
	制作
14:20	新聞紙
14:25	<30分間>
	鑑賞
14:50	まとめ
15:00	



# 題材名『ガムテープマテリアル～立体クロッキーから～』

授業者 はるひ野中学校 斎藤 純未

## 1 学習目標

「動き」を表現することに関心を持ち、動物の立体感や生命感、躍動感を身近な素材を使って創意工夫しながら表現し、造形活動の喜びを味わう。

身近な素材であるガムテープや新聞紙で作られた作品のよさや美しさに触れ、感動を誘う空間を演出することで、心を豊かにする美術の働きについて理解する。また、出来上がった作品を互いに鑑賞しあい、仲間の作品のよさに気づく。

## 2 指導事項

**A表現** (1)ア、イ (3)ア、イ

**B鑑賞** (1)ア、イ

**[共通事項]** (1)ア、イ

## 3 題材設定の理由

身近な素材と向き合い制作された現代アートは、多く存在する。中でも岡本太郎展で発表された関口光太郎さんの、ガムテープと新聞紙で作られた巨大なオブジェが圧巻であった。

今回は新聞紙とガムテープを使って生き生きとした動物の形やムーブメントを瞬間的に切り取り、立体クロッキーという形で動物を制作する。この2つの素材は身近に感じられ、入手しやすく、かつ材料を思う存分使うことができると考えた。切る・破る・丸めるなど、形を容易に成形することができるこれらの素材は、その時々によって、とったりつけたりすることが可能で、塑造的な一面も見られる。その特性を生かして、短時間ながらも創意工夫させながら容易に立体ができ、造形の楽しさを味わえると考えた。

また、空間デザインという視点で鑑賞を取り入れ、美術のもたらす空間美を体感することを目的とした鑑賞を行う。鑑賞したときに起こる素直な感覚を大切に、それを基に仲間と対話したり、感想を発表したりしてそれぞれの感じ方について思いを巡らす体験をさせたい。

この授業を通して、身近な素材から思いもよらないよさや美しさが生まれることに関心を持ち、作ることの楽しみや空間のとらえ方を見出してほしいと思い、本題材を設定した。

#### 4 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

##### (1)題材の評価規準

造形・美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現</b>・ガムテープマテリアルに興味関心をもち、自ら進んで制作しようとする。</p> <p>・仲間との対話や素材から得られた気づきを生かし、楽しみながら制作しようとしている。</p> <p><b>鑑賞</b>・仲間との会話や、鑑賞での意見交換の中で作り手の思いを感じ取ろうとしている。</p>	<p>・素材の質感から立体のイメージを探り、発想力を高める工夫につなげている。</p> <p>・仲間との対話を通して、表現の構想を練っている。</p>	<p>・素材の特性を生かし、感性や造形感覚を働かせて、形の単純化や強調など、自らの表現意図に合う表現をしている。</p>	<p>・感性や想像力を働かせて、表現されている造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図を感じ取り、作品の見方や感じ方を広げている。</p> <p>・自分の価値意識をもって群衆作品を味わいながらも、互いに個々の作品の工夫を認め合う。</p>

##### (2)学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<p><b>表現 関①</b> ガムテープマテリアルの制作意図を理解し、表現素材に興味をもって主体的にイメージを探り、構想を練ろうとしている。</p> <p><b>表現 関②</b> 素材に触れ、材料の特性を組みあわせながら、表したいイメージを構築し、仲間との交流に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p><b>鑑賞 関③</b> ガムテープマテリアルのよさを発見し、美しさや躍動感を感じ取ろうとしている。</p> <p><b>鑑賞 関④</b> 主体的に対話しながら、仲間の心情や意図・創造的な表現の工夫などに関心をもち、感じ取ろうとしている。</p>	<p><b>発①</b> 素材の質感や特徴に気づき、立体のイメージを探りながら、工夫している。</p> <p><b>発②</b> 設置場所を検討したり、対話をしたりするなかで、自分と仲間との作品の関係について考え、構想を練っている。</p>	<p><b>創①</b> 形の単純化や強調など、自らの意図に合う表現を工夫し、創造的に制作している。</p> <p><b>創②</b> 対話を生かして全体像をイメージしながら制作をしている。</p>	<p><b>鑑①</b> 参考作品から作者の思いや表現を感じ取り、そのよさを味わっている。</p> <p><b>鑑②</b> 様々な制作過程を知る中から、ガムテープで表現する方法やよさを感じとり、自分の価値意識をもって味わっている。</p>

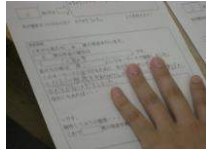
#### 5 準備

- 生徒 一筆記用具、学習カード、参考資料
- 教師 一提示用の資料(関口光太郎さんの作品)、プロジェクター、写真資料集(watch2) 学習カード、新聞紙、ガムテープ、セロハンテープ、ハサミ、カッター

## 6 学習の展開(指導と評価の計画)

関:美術への関心・意欲・態度 / 発:発想や構想の能力  
 創:創造的な技能 / 鑑:鑑賞の能力

時間	●学習のねらい ・学習活動	学習活動に即した評価規準 【評価情報】 Aキワド	・指導と評価の留意点等 Cへの手立て
5分	<p><b>課題の把握と鑑賞</b></p> <p>●題材について理解し、よさを味わうとともに、興味・関心を高め、制作意欲をもたせる。</p> <p>・参考作品や学習カードから立体作品の魅力を感じ、興味・関心をもつ。</p> <p>・参考作品を鑑賞し、活動のねらいを理解する。</p>	<p>関③ 【鑑賞の様子】</p> <p>鑑① 【学習カード・発言内容】</p> <p>関③・ガムテープマテリアルのよさを発見し、美しさや躍動感を主体的に感じ取っている。</p> <p>鑑①・参考作品から作者の思いや表現を積極的・主体的に感じ取り、そのよさを味わっている。</p> <p>テーマ 「遊ぼう！ 菅生の丘」</p> <p>例≫ 鬼ごっこをする猫たち にらみ合いっこをする犬 お昼寝している猿</p>	<p>・身近な素材から、豊かな表現ができることに気付かせ、興味関心をもたせる。</p> <p>C. 関③・わかりやすい参考作品を選び、視覚的にアプローチする。 鑑①・興味をもたせるために効果的な資料や見本を用意する。</p> <p>・見本作品から受けた意外性を感じとり、多様な美術作品に気付かせる。</p>
65分	<p><b>発想・構想・制作</b></p> <p>●題材のねらいを理解し、自分の思い描く作品をイメージする。</p> <p>・思い描く作品を学習カードに描いたり、資料を集めたりしている。</p> <p>●新聞紙やガムテープの特徴を理解し、動物の躍動感や生命感を表す。</p> <p>・グループに分かれて、制作場所に移動する。</p>	<p>関① 【学習カード、制作の様子】</p> <p>発① 【アイデアスケッチ】</p> <p>関①・ガムテープマテリアルの制作意図を理解し、表現素材に興味をもって主体的にイメージの構想を練っている。</p> <p>発①・素材の質感や特徴を理解し、立体のイメージをしっかりと探り、工夫している。</p> <p>発②【制作の様子 対話】</p> <p>発②・設置場所を検討や、積極的に対話をするなかで、自分と仲間との作品の関係について考え、構想を練ることができている。</p>	<p>・仲間とともに制作することによって、表現の幅をさらに広げさせる。</p> <p>C 関①・制作の手順をもう一度確認し、参考作品を見せるなどしてイメージを具体化させる。 発①・実際に素材を手にとらせて感覚をつかんでもらい、制作のきっかけを作る。 発②・なかなか構想がまとまらない生徒に声掛けをし、資料を提示する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の資料やスケッチを基に、想像力を働かせてクロッキーのように立体作品を作る。</li> <li>仲間と対話を通して作品を設置場所に置く。</li> <li>全体像を理解し、作品に生かす。</li> </ul>	<p><b>創①【制作の様子】</b></p> <p><b>創②【制作途中の作品】</b></p> <p>創①・形の単純化や強調など、自らの意図に合う表現を試行錯誤し、背局的に創造的な制作している。</p> <p>創②・仲間との対話を積極的に行い、そこで得られた工夫を生かして全体像をイメージしながら制作をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中作品を全体で鑑賞し、その作品に対する工夫やアドバイスを発表させて、制作方法を全体に伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>C</b></p> <p>創①・実際に部分的な作品を提示して見せる。</p> <p>創②・対話の難しい生徒には声かけをし、全体のイメージにつながる助言を行う。</p> </div>
20分	<p><b>鑑賞</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鑑賞の中で、立体作品と空間との関係性に気付く。</li> <li>●関口光太郎の作品を鑑賞し空間を変化させる面白さを知る。</li> <li>●完成した作品を実際に空間において全体で鑑賞する。</li> <li>●互いに鑑賞しながら、仲間の作品のよさに気付く。</li> </ul> <p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各自で学習カードに授業全体の感想を記入する。</li> </ul>	<p><b>鑑②【展示の工夫、対話 つぶやき】</b></p> <p>鑑②・様々な制作過程を知る中で、ガムテープで表現する方法やよさを積極的に感じとり、自分の価値意識をしっかりと持って味わっている。</p> <p><b>鑑①【学習カード 発表】</b></p> <p>鑑①・全体で作上げた群衆作品や、個々の作品から、制作者の思いや表現を感じ取り、そのよさを味わっている。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物を群衆にすることで、全員の作品が集まることによって生み出させる美術の面白さに気付かせる。</li> <li>作品について感じたことを自分自身の言葉で発表させる。</li> <li>多様な美術表現に気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>鑑賞①・②</p> <p>発表することの苦手な生徒には言葉を並べたり、発表者の意見を聞いたりして思いを伝えるよう促す。</p> </div>
授業外	<p><b>【完成作品等からの評価】</b></p> <p><b>【学習カードからの評価】</b></p>	<p><b>発② 創① 鑑② 【作品 学習カード】</b></p> <p>発②・設置場所の検討や対話から自分と仲間との作品の関係について深く考え、意図に合った構想を練ることができた。</p> <p>創①・自らの意図に合う表現を工夫し、創造的に集中して制作することができた。</p> <p>鑑賞②・制作過程や身近な素材から作品のよさを感じとり、自分の価値意識をもって味わい、次回の美術につなげようと意欲がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作者の意図や工夫を学習カードの記述から見取る。</li> </ul>





